

事業者向け

児童発達支援/放課後等デイサービス自己評価表

2026oyumino

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			適切なスペースを確保し、子ども達が活動しやすいように玩具や運動用具を整理してより広く使用できるように環境を整えている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			職員の配置数は適正である。お出かけや調理実習等のイベントでは、職員数を増やし、より安全に支援が出来るように対応している。
	3	生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか	<input type="radio"/>			子ども達に分かりやすく構造化している。バリアフリー対象施設ではないが利用者の特性に応じ、情報伝達等に配慮した環境整備に努めている。
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			子ども達の降所後、日々清掃・消毒を行っている。また、壁紙が古くなってきたので壁紙の張替え予定。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	<input type="radio"/>			常に使用できる状態となっている。
	6	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	<input type="radio"/>			安全に配慮した整備をしている。（窓や玄関ドアには飛散防止フィルムを貼り付け、避難用梯子の設置している。）
業務 改善	7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			定期的に職員ミーティングを実施し、気付いた点があればその都度話し合いを行っている。
	8	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者向けのアンケートを実施し、保護者からの意見や要望に応えられるよう改善に努めている。
	9	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			月に一回以上の職員会議を行い、共有した情報に基づいた業務改善に努めている。
	10	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在は実施していないが、今後検討していく。
	11	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			HP上で公開している。
	12	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			毎月運動研修を実施、職員が必要な研修にはリモートを問わず研修に参加出来る機会を設けている。

適切な支援の提供	13	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○		作成している。SNSやHPにて公表をしている。
	14	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		必要な時期に保護者との面談を行い、職員からも日々の様子を聞き取った上で作成している。
	15	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		記録を残し、行っている。
	16	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		行っている。
	17	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		契約時に使用し確認している。
	18	個別支援計画には、児童発達支援/放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援/放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		適切に設定している。
	19	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		その日利用する子どもの特性や状況を考えて職員間で相談しながら立案している。
	20	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		定期的にプログラムを変更し、利用者が積極的に参加できるように工夫をしている。
	21	活動場面ごとに課題を決め、設定して支援しているか	○		室内や屋外活動など活動場面ごとにに応じて課題や目標設定をして支援している。
	22	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○		モニタリングにて子どもの状況を細かく把握し、最適な支援方法を設定できるように作成している。
	23	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		日々職員間で話し合いを行い、役割分担を決めてから支援を開始している。
	24	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	○		その日の子ども達の様子や気付いた点などを職員間で共有している。不在だった職員には記録等を活用して後日共有している。
	25	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録はその日のうちに行い、いつでも支援内容を振り返ることができるようにしている。
	26	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しについて判断をしている。
	27	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか	○		行っている
28	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	○		行っている	
29	安全に運動遊びができるよう用具の使用方法や支援方法等に工夫や配慮をしているか	○		怪我等に細やかな配慮をした上で、運動指導検定を取得した職員が工夫等をして行っている。	
30	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか	○		個別支援計画に沿って利用児童の特性に合わせた支援方法となるよう工夫している。	

関係機関や保護者との連携	31	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか	○		事前に職員間で状況をまとめた上で、児童発達支援管理責任者が参画している。
	32	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○		体制は整えており、必要に応じて対応している。
	33	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在までは該当者はいないが、契約時にはかかりつけ医院を確認している。
	34	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか		○	現在、該当者はいないが、定期的に保護者へ変更がないかの確認をしている。
	35	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		今後、就学を控えた利用児童に対して関係機関との情報共有を積極的に行い、相互理解ができるように支援を行っている。
	36	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者に同意のもと、在籍している幼稚園等と情報共有を行い、連携に努めている。
	37	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時には学級担任との申し送りを行っている。また問題などがあった際には積極的に連絡を取り、連携を図っている。
	38	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在まで該当者なし。
	39	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか	○		専門機関との研修機会があり、参加をして助言等を受けられるようにしている。
	40	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	定期的実施される放課後連絡会などに積極的に参加できるよう努めている。
	41	保育所や認定こども園、幼稚園等、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか		○	現在はなかなか交流機会が少ないので、今後地域でのイベントなどに積極的に参加できるよう計画をしている。
	42	連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	○		日々の活動内容等はSNSを活用し、必要な報告は連絡帳や引き渡し時等に伝えている。
	43	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		引き渡し時には保護者への丁寧な報告を心掛け、保護者との共通理解ができるよう努めている。
	44	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者の悩み事等を聞き取り、家庭で取り組める具体的な対応等を提言するなどして支援している。

保護者への説明責任等	45	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時の説明ツールとして用意し、説明についてのチェックシートを活用して丁寧に行っている。
	46	個別支援計画を作成する際には子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		契約時や見直しの際には面談を行い、確認をしている。
	47	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	○		行っており、保護者にサインをいただいている。
	48	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談事は職員間で共有し、適切な助言ができるように話し合いを行っている。
	49	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか		○	現在は実施していないが、今後交流の機会をもてるように検討していく。
	50	子どもや保護者からの苦情、相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		運営規定への記載の他、契約時に口頭にて説明を行っている。また、苦情があった際は迅速かつ適切に対応するよう努めている。
	51	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		全ての利用者に対して本部発行の月刊誌やイベント前の予定表などを配布している。また利用の有無の確認も毎月行っている。
	52	個人情報に十分注意しているか	○		利用者と同意書を取り交わし、HPには保護方針を記載、ブログやSNS作成時に個人が特定できないように留意している。
	53	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	○		契約時に同意書の取り交わしと説明を行っている。
	54	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		口答だけでなく、連絡帳やメール等を使い、相違や誤解がないよう努めている。
非常時等の対応	55	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後、地域住民との交流機会を検討しているため、落ち葉拾いを行うなど地域に参加する機会を設けている。
	56	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		事業所内に設置しており、いつでも閲覧できるようにしている。また、保護者にはLINEや手紙にて周知している。
	57	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		BCPは策定しており、定期的に行われる委員会にて見直しを行っている。消防本部への届け出を年2回、その他毎月様々な状況を想定し、必要な避難訓練を行っている。
	58	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員の虐待発見時は上司への報告だけでなく直に担当機関への報告としている。定期的に虐待防止研修の受講をし、職員間で必ず共有を行っている。また委員会を設置し、情報の共有、適切な支援方法の理解を深めている。
	59	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか		○	機会はないが、身体拘束についての研修を受講し、対応方法については職員間で共有している。
	60	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時に確認している。
	61	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、医師の指示書が必要な利用児童はいない。保護者からの指示により対応をしている。契約時にはアレルギーの有無を聞き、心配がある利用児童にはおやつ等を持参してもらっている。
	62	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		安全計画は作成しており、定期的に見直しを行っている。また、研修も定期的に行っている。
	63	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○		定期的にLINEにて配信している。
	64	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	○		発生時はその日のうちに記録の作成を行い、月末に取り纏め、事業所間で共有を行っている。また、職員間でもその都度会議を行っている。